



# 桜だより

2022年1月24日発行

## 自分自身で正しい判断のできる子に！

阪神・淡路大震災（1995.1.17）から27年が経ちました。街は復興し日常を取り戻したかのように見えますが、震災を体験した人たちにとってはまだ終わっていないのだと、日本からの報道で感じました。日本国内では、その後も多くの自然災害が繰り返し発生しています。その度に、被災者は立ち上がり前に進んできたのが日本の歴史です。ある意味、自然災害に対して手の打ちようがないのも事実です。しかし、それでもひとり一人の大切な命は守らなければなりません。



その代表例として、東日本大震災の時の「釜石の奇跡」は、私たちにとって教訓となるものではないでしょうか。

2011年3月11日、東日本大震災によって多くの尊い命が奪われました。岩手県釜石市でも津波によって多くの犠牲者を出したのです。この耐えがたい被害に遭いながらも、市内の小中学校のほとんどの児童生徒が、津波から逃れることができました。これは学校にいた児童生徒は勿論、下校していた子どもたちも助かったのです。それは多くが、自分自身で判断し高台に避難したことによるものです。数年にわたり繰り返し行われてきた防災教育の結果とされています。

大切なのは、自らの力で自分たちの大切な命を守り、何があっても互いを信じ助け合いながら生きていくということです。本校でも、年間を通して防災・防犯訓練を行っています。ここは日本とは違い、地震はほとんどありませんが、銃声・暴漢・火災・土砂崩れ・地震など、考え得る災害・犯罪に対する訓練を行っています。何よりも、この訓練を通して、いつ、どこで、何が起きても、自分自身で判断し、正しい行動がとれる子を育成することが、本校の安全教育の目的です。今後も、様々な想定をしながら、繰り返し防災・防犯教育に取り組んで参ります。

最近では、トンガの大規模火山噴火による津波も発生し、遠い国の話では済まない出来事も発生しています。平凡な日常が、実は何よりも素晴らしいことであると、あらためて感じています。

災害が起こるのは学校だけではありません。ご家庭においても日頃から、安全教育についてお子様と話し合わせてください。



### 音楽科 熊本先生着任

3学期から、新しく熊本尚美（くまもと なおみ）先生が、小形先生の後任として音楽の授業を担当することになりました。どうぞよろしくお願いたします。

前任の小形先生と同様に、低学年・高学年・中学部の3つのクラスの指導を行います。勤務の関係で音楽の時間割が変わることもありますのでご承知おきください。





8日(土)にお正月会を開催させていただきました。当日は日学以外から8家族の皆様もお迎えして、楽しいひとときを過ごすことができました。大変にありがとうございました。子どもたちは、同じリオに住んでいても、学校が違うためになかなか会うことができない同世代の友だちに積極的に声をかけ、交流を進めることができました。子どもたちにとって、良い刺激になったようです。



# お正月会

当日は、お正月〇×クイズ、昔遊び体験、夏祭りコーナーと、3つのステージで過ごしました。〇×クイズはお父さんやお母さんも参加し、問題の度に右に行ったり左に行ったりと、真剣にクイズに答えていました。

昔遊び体験では、お正月に付きものの「凧」の製作をはじめ、けん玉、だるま落とし、コマ回し、坊主めくりやお手玉、羽根つきなどを行いました。

夏祭りコーナーでは、魚釣り、的当て(射的)、ボール入れ、輪投げなど、子どもたちが楽しめるゲームを行いました。それぞれで景品をゲットし、帰り時には袋いっぱいのお菓子を持ち帰りました。

最後に得点で優勝した子が、昔ながらのお年玉(?)をゲットして、2年ぶりのお正月会が終了しました。

餅つきや書き初めなどの催しは実施できませんでしたが、子どもたち同士の交流の場を持てたことは大変に良かったと思います。



片付けでは保護者の皆様をはじめ、参加いただいた大人の皆様にご協力をいただき大変に感謝申し上げます。ありがとうございました。次年度は、このような交流の場が少しでも多く開催できることを願っています。

